

研究計画書

ゼミ名	上島ゼミⅡ	チーム名	ミスマッチ上島
タイトル	天職のすゝめ		
テーマ群	c) 公共経済		
メンバー	安積育美、小畑有輝、清水駿、成本優華、 平松美穂、松本滉生、森本実央、吉住達也		
研究計画内容	<p>〔研究目的〕</p> <p>就活生は、自分にマッチした仕事に就くことを目指している。しかし、何をもってその仕事为天職だと判断するのかは難しい。仕事選択の軸は、人によってさまざまである。「好き」を重視する人、「能力」を重視する人など。そこで、まず、天職の条件を規定する。そして、学生にとって可能な、天職に出会うための方法を提案する。</p> <p>〔研究内容〕</p> <p>「思っていた会社じゃない！」実際に働き始めると見えてくる会社の内実。入社前に抱いていたイメージとは異なり、入社前後にギャップに直面する。このギャップが離職する原因の一つである。就活で苦労したにもかかわらず、早々に離職することは、リスクの高い行為である。中途採用では即戦力が求められているので、実務経験の少ない者にとって再就職することは難しい。企業にとっても、採用に当たり多額の費用を投資したことから、早期退職は望ましくない。</p> <p>現在、ミスマッチを生じさせないために様々なキャリア支援が実施されている。インターンシップや大学でのキャリア教育などがその例である。しかし、大卒者の3年以内離職率は3割で横ばいである。原因として、自己分析や企業研究に問題があるのだろうか。そこで、天職とは何かを規定し、そこにたどりつく方法を述べる。</p> <p>〔期待される成果〕</p> <p>関係者へのアンケートとインタビューをもとに、天職の見つけ方を提案する。それにより、若者と企業の両方にとって不利益なミスマッチを減らしたい。</p>		